7　学生　3版　2019年（平成31年）3月5日（火）夕刊　毎日新聞　（第3種郵便物認可）

キャンパる 30周年記念

とうきょう・とちぎ・しずおか代表が語る

紙面にぶつける熱い思い

ホームページ http://my-campal.com/top/
メール campal@mainichi.co.jp

今年「創刊」30周年を迎えたキャンパる（とうきょうキャンパる）は、現在全国9エリアまで拡大している。それを記念して先月26日、キャンパるの母体である毎日新聞東京本社に、とちぎキャンパる、しずおかキャンパるの学生記者が集結。3キャンパるの代表各2人が座談会を行い、それぞれのキャンパるへの思いなどを語った。

【聞き手・まとめ＝東洋学園大4年・釘田まこと、写真は津田裕大2年・畠山恵利佳】

座談会参加者

廣川　萌恵（早稲田大3年）
川畑　響子（上智大1年）
＝とうきょうキャンパる
板田　知佳（宇都宮大1年）
篠原　紬（宇都宮大1年）
＝とちぎキャンパる
伊東紗央子（静岡大1年）
増田　裕太（静岡大1年）
＝しずおかキャンパる

司会・釘田まこと

緊張感ある箱根駅伝取材

忙しくても充実した毎日

廣川萌恵

板田知佳

伊東紗央子

——キャンパるに参加したきっかけを教えてください。

廣川　もともとお母さんがキャンパるのファンで、私が大学に入る前から勧められていた。

川畑　廣川さんが入ったのは大学2年生の時ですよね。

廣川　新聞って聞くと真面目な感じがして最初は行きにくかった。大学のサークルに入っていたけれど他のサークルも見てみたくて、キャンパるに来ました。

川畑　私は新聞に興味があるのと、メディアを勉強する学科にいたから。たまたま授業で知り合った先輩がキャンパるにいて、話を聞いて楽しそうだなと思って。

篠原　とうきょうはサークルのようなもので自主的に集まっているんですよね。とちぎは、ほとんどの学科生（コミュニティデザイン学科）がこの授業を受講しています。

板田　授業終了（平均）後は、希望者が（サークルの）とちぎキャンパる倶楽部に所属し、授業がない月の紙面を書いています。

伊東　私たちしずおかキャンパるも授業の一環ですが、履修希望者が多いので選抜される。普通の学生は記事を書く機会がないからやってみたいなと思い参加しました。

増田　僕の家は新聞を2紙とっていて昔から新聞は身近な存在。しずおかキャンパるは、僕たちの代が1期生。一から組織を作り上げるのは楽しそうだなと思ったので。

廣川　私は箱根駅伝取材班。毎年、秋ごろから箱根駅伝に出場する大学を1校選んで密着取材するけれど、他の取材では緊張しないのにこれだけは毎年すごく緊張する。テレビや雑誌で見ていた人が目の前にいると思うと不思議な気分になる。

川畑　わかります。私も初めて取材班に参加しましたが、選手たちの記事を書くという形で応援できたのはうれしい。

——取材をすることで自分たちも刺激を受けますよね。キャンパるは外で夢中になっているとはありますか。

伊東　旅行。岐阜に行ったり、四国を車で回ってみたり。学生のうちに全国各地に行ってみたい。

板田　今までやれなかったことをやろうと決めて部活やサークルを計三つ掛け持ちしている。スケジュールはほぼ毎日埋まっているけれど充実している。

増田　僕も部活が忙。陸上部でやり投げをやっていて、全国大会に出場することを目標にしている。指導者がいないからSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）で練習方法を探すこともある。

川畑　とにかくいろんなことを知りたい。例えば、すっと東京に住んでいるのによく知らない。だから今度友達と都内巡りをするつもり。

廣川　キャンパるに入って箱根取材のために一眼レフカメラを買った。以来カメラにはまっている。星を撮りに長野まで行くこともある。あとは、大学で勉強していることが土木だから、橋やダムを撮影するのも面白い。

——最後にキャンパるの魅力を教えてください。

増田　取材していろんな人に出会えて発信していけること。

廣川　目の人とのかかわり方がわかるようになる。キャンパるになれば組織の運営の大変さや人間関係、後輩育成のことも学べる。社会勉強や成長の場だと思う。

伊東　静岡県民の人に地元の良さを再確認してもらえる。

板田　私も同じ思い。情報発信を通して、町おこしに貢献していると実感している。

篠原　取材でいろんな人に会って一人一人がすごいと感じます。そんな人たちや地方都市を大切にしたいと思うようになりました。

川畑　みなさんおっしゃっている通り。いろんな人に出会えることがキャンパるの魅力だと思います。

——私はこの春、キャンパるを卒業しますが、皆さんの活躍を期待します。

川畑響子

篠原紬

増田裕太

いろんなことを知りたい

地方都市も大切にしたい

伝統工芸作り奥深さ知る

人との出会い伝える魅力

とちぎキャンパる
とうきょうキャンパるの姉妹版として2016年4月に創刊。宇都宮大学地域デザイン科学部の「地域メディア演習」の履修者と、とちぎキャンパる倶楽部のメンバーで製作している。月1回、栃木県版に掲載。

しずおかキャンパる
同じく、とうきょうキャンパるの姉妹版として18年4月に創刊。静岡大学人文社会科学部の「地域メディア論」の履修者で製作している。月1回、静岡県版に掲載。

東洋学園大学　www.tyg.jp　※無断転載、複製はご遠慮ください